CLEAN-UP

発行責任者
公益財団法人
ちとせ環境と緑の財団
理事長 五島 洋子
TEL 0123-26-1213

平成29年度 クリーンアップ推進員会議

平成29年度のクリーンアップ推進員会議は、5月8日(月)午後6時15分より、千歳市総合福祉センター4階402号室で開催され、推進員61名が参加した。

来賓に、千歳市市民環境部の伊賀宗徳部長、千歳市環境部環境センターの成瀬茂明センター長並びに公益財団法人ちとせ環境と緑の財団の五島洋子理事長を迎えた。

今年度は、役員改選の年で、会議の冒頭で、幹事12名を決定し、幹事の互選により、供野靖史会長、菅原章副会長、野口満洲男副会長を決定した。

会議は、供野会長が議長となり進行し、報告事項「平成28年度クリーンアップ推進員会事業報告」と「クリーンアップ推進員会会則の一部改正について」の2件が報告済みとなり、協議事項「平成29年度クリーンアップ推進員会事業計画(案)」と「リサイクルフェスティバルの共催等について」の2件も原案どおり決定した。

意見交換では、町内会への推進員の委嘱人数について、確認を求める質問があり、事務局からクリーンアップ推進員設置要綱や推進員会の会則の記載事項を基に回答した。

【新役員の紹介】

会長
新富中町内会　供野靖史

副会長
若葉団地町内会　菅原章
住吉５丁目町内会　野口満洲男

幹事
東雲４・５丁目町内会　長谷川由美子
里美町内会　神田秀雄
文京町内会　菊地真美
栄町西区町内会　藤井勝義
大和中央町内会　剣持瞳
北斗北町内会　石川博三
新富北町内会　佐々木幸徳
東高台町内会　重留光正
あずさ町内会　西山茂男
（敬称略）

クリーンアップ推進員委嘱状交付及び表彰式

財団では、クリーンアップ推進員会議に先立ち、五島理事長より、クリーンアップ推進員が委嘱された。

続いて、クリーンアップ推進員設置要綱に基づき、7年以上にわたり、推進員の職務に精励し、他の模範となった5名の推進員に五島洋子理事長から表彰状と記念品が贈呈され、続いて、クリーンアップ推進員会設置当初から会長を務めてきた斎藤邦男様の勇退並びに千歳市生活学校には、その長きに亘る協力に対して、感謝状と記念品が贈呈された。

【表彰を受けた人】
●富士町内会　一ノ瀬昌俊
●青葉丘町内会　古田輝勝
●若草町内会　山田康雄
●自由ヶ丘町内会　小山内幸雄
●新富西町内会　熊谷義則

【感謝状を受けた人・団体】
●クリーンアップ推進員会　前会長　斎藤邦男
●千歳市消費者協会
●千歳市生活学校
（敬称略）

第36回 リサイクルフェスティバル

第36回リサイクルフェスティバルが8月5日(土)に開催され、クリーンアップ推進員から6名が運営に参加した。

午前8時半より、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団職員とともに、トラックからの荷下ろしや陳列整理を行い、フェスティバルが始まると、来場者への案内、リサイクル家具安価販売会、リサイクル自転車無料抽選会に携わった。

今回は、リサイクル自転車無料抽選会では前回まで1回のみの抽選であったところを、午前と午後の2部に分けて実施した。また、リサイクル家具安価販売会は前回まで先着順であったのを見直し、多くの人が参加できる抽選とした。

リサイクル自転車無料抽選会では、40台の自転車に対して、前回を上回り合計で690名の応募があり、リサイクル家具安価販売会では47点が、1冊10円の古本販売会では482冊が完売となり、例年以上の盛り上がりを見せた。

また、子どもの頃から資源回収に興味を持ってもらおうと、クイズコーナーを設け、子どもも楽しめるイベントとなった。

他に、千歳市環境センターでは、市が参画している「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」のブースを設け、東京2020オリンピック・パラリンピックのメダルにリサイクルするために、使用済み携帯電話やスマートフォンを88個(およそ9kg)回収した。株式会社マテックが設けたブースでは、古衣料294kg、使用済み小型家電45点が回収された。

会場には常に多くの人々が集い、活気ある催しとなり、来場者数は5，042人(前回比プラス68％)を記録した。

多くの人々が資源の有効活用とごみの減量化に参加できるイベントとなった。

【イベントに携わった推進員】

●新富中町内会　供野靖史
●住吉5丁目町内会　野口満洲男
●里美町内会　神田秀雄
●東雲4・5丁目町内会　長谷川由美子
●北斗町内会　石川博三
●桂木3・4丁目町内会　長谷川俊雄
（敬称略）

平成 29 年度

第１回クリーンアップ推進員研修会

平成29年6月20日(火)に、クリーンアップ推進員23名、財団役職員6名、市職員1名の合計30名で、再資源化に係る施設見学が行われた。訪問先は、『エコパーク三笠(三笠市)』と『いわみざわ環境クリーンプラザいわぴか(岩見沢市)』の2か所で、どちらの施設も周囲への環境負荷の低減を意識した取り組みを行っているものだった。

環境センターからの説明

施設見学に先立ち、環境センターの櫻庭主任より、千歳市の現状についての説明があった。

今年度から、4種資源物のペットボトルについては、ラベルとキャップを取り除く様に周知しており、ペットボトル容器を、ほかの製品として再生させるためには、異素材が混入しないようにすることが求められているからとのことであった。

また、プラスチック容器包装についても同様に、それ以外の異物が混入していると、再商品化に支障があることから、各家庭で適切な分別をしてほしいとのことであった。

エコパーク三笠

この施設では、光学選別機を2台導入することで、精度の高い異物の除去に力を入れている。

また、使用される工業用水は施設内で100%ろ過し、再利用しているとのことであった。

この施設に搬入されたプラスチック製容器包装などは、粒状のペレットにされた後、倉庫で使うパレットなどを作る原料として、メーカーへ出荷されていた。

いわみざわ環境クリーンプラザいわぴか

平成27年より稼働のこの施設は焼却施設とリサイクル施設を併設することで、設備を共用し、整備費や維持管理費を縮減して運用されている。

焼却施設から出る高熱の排ガスは蒸気タービン発電により電力に変え、施設内の電力をほぼ賄い、一部は電力会社へ売ることもあるとのこと。また、有害物質を含む排ガスはろ過集塵機を通して取り除き、煙突から排出されるそうだ。

紙パック奨励金寄附

平成29年5月26日(金)に、集団資源回収に参加する団体のうち、紙パック分の奨励金を福祉に役立てることに賛同した123団体を代表し、北斗北町内会が平成28年度第3、4四半期の紙パック奨励金37，834円を、千歳市社会福祉協議会へ寄附した。

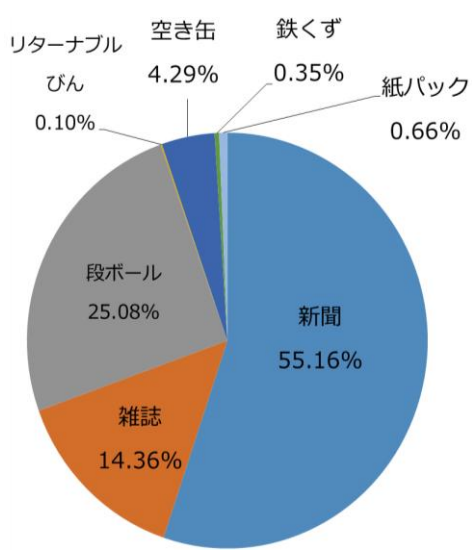
寄附金は車いすなど福祉機器の購入資金に充てられる。

写真右より、
ちとせ環境と緑の財団 五島 洋子 理事長
北斗北町内会 近藤 久雄 会長
社会福祉協議会 力示 武文 会長

集団資源回収実績

平成29年度第1四半期の集団資源回収実績は、多くが前年度より下回る結果となった。

回収量の減少傾向はここ数年続いている。その中でも顕著に表れているのが、回収対象の大半を占める、新聞、雑誌、段ボールといった古紙類である。この要因としては、若者の活字離れによる紙媒体の購入数の減少、段ボールの軽量化、民間企業による古紙回収が活発になっていることが考えられる。



※プラスチック製ケースは回収実績がないため、載せていない

【集団資源回収実績（第１四半期分：４～６月）】

	総回収量
２８年度	約794.2トン
２９年度	約727.7トン

財団からのお知らせ

●研修会について

第2回クリーンアップ推進員研修会が平成29年9月25日(月)に開催されます。訪問する施設は、午前がエコロパ西いぶり(室蘭市)、午後が千歳市環境センターです。研修に参加予定の推進員の方は、帽子と推進員証を忘れずにお持ちください。

●第2四半期分(7～9月分)の集団資源回収奨励金交付申請の受付開始について

平成29年10月1日～20日の期間で奨励金交付申請の受付が始まります。申請は、奨励金交付申請書に、回収のあった月の回収伝票を添えて、財団へ提出となります。各町内会の担当者へご案内をお願いいたします。

【問い合わせ先】
事業課資源振興係
TEL　０１２３－２６－１２１３

オフィスのプリント環境を考える
RISO 世界最速カラープリンター
オルフィス GDシリーズ
Community & Solution
株式会社 カミノ
本社　千歳市新富３丁目３－２４
TEL（0123）23-4255
FAX（0123）24-1381
科技大売店・恵庭支店・北広島支店
千歳版環境マネジメントシステム認証登録 認証登録番号・08-011号

この推進員だよりの発行には株式会社カミノ様のご協力をいただいております。